

令和 5年度施策評価書

政 策	02 安心して子育てができ、子どもが心豊かに育つまちづくり
施 策	02 学校教育の充実
主管課	学校教育課
関連課	教育総務課、学校給食課、子ども支援課、家庭支援課、総務課
施策が 目指す姿	市内小・中学校の児童・生徒/学力・体力を身に付け、優しさと強さを持つことができる

方針

令和 5年度	・教育大綱の基本理念の体现を目指し、授業改善やICTの積極的な活用に向けて教員への指導の充実を図る。 ・不登校児童生徒、障害のある児童生徒、外国につながる児童生徒等、特別な支援が必要な児童生徒及び、経済的な問題等を抱え、子どもの成長に影響を与えている家庭に対して、その課題解消に向けた支援が行えるよう、体制を整備し支援を充実させる。 ・安全安心で学習・生活しやすい環境の維持確保に努める。
--------	--

指標

成果 指標名①	授業に一生懸命取り組んでいる児童・生徒の割合					単位	%
						達成率区分	増加目標
目標値		令和03年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画		89.4	89.6	89.8	90	
	実績	89.2	89.7	92.4			
達成率			100.34%	103.13%			
成果 指標名②	失敗を恐れず、挑戦するようにしている児童・生徒の割合					単位	%
						達成率区分	増加目標
目標値		令和03年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画		70	73	76.5	80	
	実績	66.9	69.8	71.5			
達成率			99.71%	97.95%			
成果 指標名③						単位	%
						達成率区分	増加目標
目標値		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
	計画						
	実績						
達成率							

事業費内訳

(単位：千円)

		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
事業費	計画	0	0	2,951,590
	実績	0	0	2,235,050
財源内訳	国庫	計画	0	219,689
	支出金	実績	0	26,106
	県	計画	0	2,815
	支出金	実績	0	1,676
	地方債	計画	0	177,200
		実績	0	0
	その他	計画	0	1,198,880
		実績	0	827,014
	一般	計画	0	1,353,006
	財源	実績	0	1,380,254
人件費	計画	0	0	5,103
	実績	0	0	321,927
トータル コスト	計画	0	0	2,956,693
	実績	0	0	2,556,977

評価

施策の 振り返り	・魅力ある授業の推進：計画的に隔年での全校訪問及び研修を実施し、授業改善が進んだ。 ・地域との連携推進：すべての中学校区でコミュニティ・スクールが始まり、それぞれの地区の特性を生かした活動が始まりつつある。 ・若手教員の指導力向上：2,3年目の教員に、教育センターが訪問指導や研修会を実施し、着実な指導力向上が見られる。 ・ICT機器の効果的な活用：活用頻度については全国的に見ても高くなり、授業での効果的な活用について研究が始まった。 ・児童生徒の体力向上：各種健康診断は着実に実施されている。地域クラブの移行も計画的に進み、12クラブでの活動が開始された。 ・配慮を要する児童生徒及び家庭の支援の充実：低学年サポーターが増員され、子どもたちが安定した学校生活を送ることができた。また、医療的ケア児に対応する看護師が配置され、安心して学校生活を送ることができるようになった。課題を有する子供や家庭を支援するため、学校福祉部を設置し、訪問支援、ケース会議など学校福祉部の対応件数が増加することで、家庭が安定したり、登校日数が増えたり、様々な関係機関とつながったりする児童生徒が増えるなどの成果が上がっている。 ・外国につながる児童生徒の支援の充実：児童生徒数の増加や低年齢化に対応するため、プレスクールやプレ教室、個に応じた支援を充実させ、安心して学校生活を送れる児童生徒数が増加した。 ・安全安心で快適な教育環境整備：学び舎にこにこ元気計画に則り、着実に整備を進め、トイレの洋式化改修工事を4校分、設計を4校分行った。
施策の 課題	・地域との連携推進：それぞれの地区の特性を生かしたコミュニティ・スクールへの取り組みが始められたが、研修会での情報交換等を通して、さらなる充実に努める必要がある。 ・ICT機器の効果的な活用：教育委員会の訪問やGIGAスクール推進室の訪問の機会を活用し、効果的な授業での活用についてさらに実践を広げ、より深めていく必要がある。 ・児童生徒の体力向上：今後の地域移行がスムーズに進むよう、平日も含めた地域クラブ移行のロードマップや地域クラブ活動ガイドラインの作成が必要である。 ・配慮を要する児童生徒及び家庭の支援の充実：今後は、不登校児童生徒数の増加を防ぐための予防対策を行うとともに、更なる手厚い子ども及び家庭への支援を充実させていく必要がある。 ・外国につながる児童生徒の支援の充実：今後も児童生徒数の増加が進むと考えられるため、支援場所も含めどのような支援が効果的であるかについて、研究していく必要がある。 ・安全安心で快適な教育環境整備：今後、現状把握と計画の見直しが必要な項目もある。猛暑災害対策では、小学校の屋内運動場の空調について、できるだけ早く整備を行っていく。屋外運動場についても、どのような対策が取れるか検討が必要である。水泳授業の在り方については、現場の意見をもとに、具体的な授業の在り方について検討していく必要がある。
市民意見	・不登校の子どもの保護者の孤立を防ぐように、どのような支援があるのかなど、周知する必要がある。 ・担任の教員がすべてに対応するのは難しいため、専門的な知識を持つスクールカウンセラーの人数を増やして対応したらどうか。 ・子どもも先生も保護者も忙しくて余裕がなくなっており、不登校等の対策を充実させるためにも、学校の在り方を根本的に考える時が来ているのではないか。